

# 「広報いっなん」のデザインを変更

平成17年1月20日以来、毎月発行してきた「広報いっなん」は、本号で200号を迎えます。

これを機に「より多くの人に、飯南町の笑顔を届けたい」という思いから、表紙と裏表紙のデザインを変更し、裏表紙には「ルーツいいなん」という飯南町に縁やゆかりがある人を紹介するコーナーを設けました。

デザインのコンセプトは「笑顔」。表紙は「町民の笑顔を届ける窓」をイメージし、白枠を設け、白枠とローマ字の角を丸くしています。角を丸くすることで「人が笑った時の口元」を表現しています。

デザインだけでなく、内容も飯南町にしかない情報を届けられるよう頑張っていきます。これからも「広報いっなん」をよろしくお願いします。



# 地域おこし協力隊を紹介

8月1日付けで着任した2人を紹介します。

●松尾由貴さん(福岡県から)  
 (二社)ファームアシスト飯南担当  
 農業は未経験ですが、農家の皆さんの役に立てるよう頑張ります。



●那須野昌さん(東京都から)  
 (二社)飯南町観光協会担当  
 飯南町のアウトドア体験を自分も楽しみながら、盛り上げていきたいと思っています。



# 地域づくりアドバイザーに任命

島根大学教育学部の作野広和教授を「飯南町地域づくりアドバイザー」に任命しました。

作野教授は、国道54号活性化アクションプラン推進協議会会長を務めるほか、飯南町ふるさと回帰館に研究分室を置いて地域を調査するなど、町に精通しています。

作野教授は「何もしないと、今ある飯南町の素晴らしいところが失われていきます。飯南町がより一層良い方向に向かうように努力したい」と話しました。



今後は飯南町の地域づくりに助言をいただきます

# 災害支援物資と義援金をいただきました

【支援物資】  
 ・広島県坂町小屋浦地区  
 ・(株)山陰合同銀行  
 ・くすりのファミリア

【義援金】  
 ・近畿飯南会  
 ・日本共産党中央委員会  
 ・沢田昇さん(茨城県)  
 ※「ふるさと納税災害支援寄附」でも、多くの支援をいただいています(8月1日現在47件)

# 金婚を迎えられるご夫婦をお祝いします

今年金婚を迎えられるご夫婦に記念品をお贈りします。対象のとなるご夫婦は、保健福祉課までご連絡ください。

●対象 金婚(結婚50周年)を迎えられるご夫婦(昭和47年1月1日〜12月31日に結婚)

●記念品 ご夫婦の記念写真

●申込期限 9月10日(金)

■問合せ 保健福祉課 ☎72-1770

# 令和3年度産地交付金の助成内容

産地交付金は、町地域農業再生協議会が策定した「水田収益力強化ビジョン」に基づき、水田で一定面積以上の対象作物を生産・販売した場合に、面積に応じて交付金が交付される制度です。地域が戦略作物として設定する作物の振興を支援する目的で交付され、町がその活用方法を決定しています。

本年産の対象作物に対する助成単価・下限面積・要件は、次の表のとおりです。

■問合せ 産業振興課 ☎76-2214

	対象作物	助成単価	下限面積	対象とする要件
集団化助成	大豆	25,000円/10a	1ha	生産、販売(基幹の2作業以上を受託し、販売権を有する作業受委託契約に基づく作付面積を含む)
	そば	15,000円/10a		
	麦	10,000円/10a		
	WCS用稲	5,000円/10a		
	加工用米、米粉用米	10,000円/10a		
地域振興作物助成	飼料用米	15,000円/10a	5a	生産、販売 複数年契約(3年以上)の生産、販売
	やまといも、さつまいも、しょうが	10,000円/10a		
	とうがらし	15,000円/10a		
	トマト、メロン、パプリカ	10,000円/10a		
	加工用青刈り稲	35,000円/10a		
	10a	10a		
その他	そば、なたね	20,000円/10a (二毛作:15,000円/10a)	1a	生産、販売
	飼料用米、米粉用米	12,000円/10a	1a	複数年契約(3年以上)の生産、販売
	飼料作物、WCS用稲(耕畜連携助成)	13,000円/10a	1a	水田放牧、資源循環に取り組んだ場合

※水田における対象作物の作付けが交付金の対象(畑での作付けは対象外)  
 ※算出した交付金総額が国からの配分額を超えた場合は、助成単価を一律減額調整

# まちを元気に！地域おこし協力隊

町内のさまざまな課題解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介。今月は、国道54号の活性化に取り組みむ前田千紗さんの活動報告です。

今年の春に大学を卒業し、4月から地域おこし協力隊に着任した前田千紗です。私は横浜市出身ですが、小さい頃から、祖母の家がある飯南町に何度も遊びに来ていました。故郷に帰ってきた気持ちで毎日楽しく過ごしています。現在は、頓原公民館を拠点に活動しています。

さて、国道54号活性化として「いっちゃん人つなぎ基金贈呈式」を、7月14日に行いました。今年度は、(株)SBNと飯南神楽団の2団体に基金を贈呈しました。(株)SBNは赤来高原観光りんご園の維持発展、飯南神楽団は神楽を通じた地域づくり・文化継承に取り組みまれています。贈呈式は来年度も実施する予定です。

最近では、地域のイベントに参加することも増えてきました。先日は、頓原公民館のスマホ講習会にお邪魔し、まちの若者たちと一緒に、ご年配の方にスマホの使い方を教



国道54号活性化協議会の皆さんと一緒に



教える時は1対1